

## 基本的なコマンド集

- ここに載っているコマンドはすべてのUnix系OSですべて実行できるわけではありません。多少OSによって仕様が変わっていることがあります(FedoraCore1にて動作確認済)。
- また、ここに載っているコマンドのoptionはすべてではありません。

### ファイル操作

cat (option) [file]	
cat	... conCAtenate files and print on the standard output ファイルの内容を閲覧します。
(option)	
-n	... すべての行に番号を付けてファイルを閲覧します。
<使用例> cat file1 →file1の内容を表示します。 cat file1 file2 →file1とfile2を連結して内容を表示します。	

cp (option) [file1/dir1] [file2/dir2]	
cp	... CoPy files and directories ファイルやディレクトリのコピーします。
(option)	
-r	... ディレクトリを再帰的にコピーします。
<使用例> cp file1 dir2 →file1をdir2のディレクトリにコピーします。 cp file1 file2 →file1をfile2という名前でコピーします。 cp -r dir1 dir2 →dir1のディレクトリの内容をすべてdir2としてコピーします。 cp file* dir2 →複数のファイルのコピーをします。頭にfileがついたファイルをすべてdir2にコピーします。	

mv (option) [file1/dir1] [file2/dir2]	
mv	... MoVe (rename) files ファイルやディレクトリの移動、またファイル名、ディレクトリ名の変更を行います。
<使用例> mv file1 dir1 →file1をdir1に移動します。 mv file1 file2 →file1の名前をfile2に変更します。	

rm (option) [file/dir]	
rm	... ReMove files or directories 指定したファイル、ディレクトリを削除します。
(option)	
-r	... ディレクトリ内を再帰的に削除します。
-f	... 警告メッセージを表示しません。
-i	... 警告メッセージを表示します。 ※ 警告メッセージ:ファイルを削除していいかを問合わせるメッセージ。
<使用例> rm file →fileを削除します。 rm -r dir →dirの中身ごとすべて削除します。 rm -ri dir →dirの中身を削除するときに各々のファイルについて警告メッセージを表示します。	

find (option) [dir] [formula]	
find	... search for files in a directory hierarchy 指定したdirをformulaの条件に従ってファイルを検索します。
[formula]	
-group [グループ名]	... 指定したグループ名のファイルを検索します。
-name [文字列]	... 指定した文字列のファイル名を検索します。
-type [ファイル・タイプ]	... 指定したファイル・タイプを検索します。 ファイル・タイプは、ディレクトリ: "d"、通常ファイル: "f"、シンボリックリンク: "l"
-user [ユーザー名]	... 指定したユーザー名のファイルを検索します。
<使用例> find /home -name "*.txt" →/home以下で.txtのファイルを検索します。 find . -type d -user root →現在のディレクトリ上のオーナーがrootのディレクトリをすべて検索します。	

locate (option) [検索したいもの]	
locate	...-> slocate - Security Enhanced version of the GNU Locate システム中に存在するファイルをデータベース化した「ファイル名データベース」から検索することにより、高速に検索することができます。ただしファイル名データベースが更新された日付よりも後に作成されたファイルは見つけることができません。
<使用例> locate ifconfig →ifconfigのコマンドのある場所や、マニュアルなどが検索結果として出てきます。	

touch (option) [file]	
touch	...change file timestamps 指定したファイルのタイムスタンプを更新。ファイルが存在しない場合は空ファイルを作成します。
<使用例> touch file1 →・file1が存在していれば、最終アクセス日時を現在の時刻に更新します。 ・file1が存在していなければ、空ファイルとしてfile1を作成します。	

### ディレクトリ操作

ls (option) [dir/file]	
ls	... LiSt directory contents ファイルやディレクトリの情報を表示します。
(option)	
-a	... すべてのファイルを表示します。
-l	... ファイルの詳細情報を表示します (ファイル名、ファイルタイプ、パーミッション、ハードリンクの数、オーナー名、グループ名、ファイルサイズ、タイムスタンプ)。
-R	... サブディレクトリも再帰的に表示します。
-F	... ファイルタイプを表す記号をつけて表示します(ディレクトリ: "/" 実行可能ファイル: "*")
<使用例> ls -Fal →現在のディレクトリのすべてのファイルの詳細を種類別記号付きで表示します。 ls -alR →現在のディレクトリ及びサブディレクトリのすべてのファイルの詳細表示で再帰的に表示します。	

mkdir (option) [dir]	
mkdir	... MaKe DiRectories ディレクトリdirを作成します。



^	行の先頭を表します。
\$	行の末尾を表します。
[]	括弧内の任意の文字に一致。ハイフン(-)で範囲を指定することもできます。括弧内の最初の文字を^すると意味が逆転します。
+	直前の文字の1個以上の連続。
?	直前の文字の0または1文字に一致。
p1 p2	p1またはp2のいずれかに一致。
(pat)	patをグループ化します。
¥	正規表現に使われる記号を普通の文字として扱います。
＜使用例＞ grep rat *.txt →現在のディレクトリの.txtのファイルからratという文字を検索します。	

## パーミッション

### chmod (option) [変更後のアクセス権] [file/dir]

chmod	... アクセス権を変更します。
—記述方法—	
—ユーザー表記—	
u	オーナー
g	グループ
o	その他のユーザー
a	すべてのアクセス権
※3bitずつ、オーナー、グループ、その他と鳴っている(最も左のbitは特殊表記)。	
—変更方法—	
+	指定したアクセス権を付加します。
-	指定したアクセス権を削除します。
=	指定したアクセス権にします。
—表記—	
r	読み込み権限
w	書き込み権限
x	実行権限
—数字表記—	
0	----
1	--X
2	--W
3	--WX
4	r--
5	r-X
6	rW-
7	rWX
※2進数に直した3bitに当てはめる。	

＜使用例＞ chmod 640 file → fileのアクセス権は、-rw-r----- fileとなります。 chmod ug+rxw file →さらにfileのアクセス権は、-rwxrwx--- fileとなります。 chmod o=rx file →さらにfileのアクセス権は、-rwxrwxr-x fileとなります。 chmod g-rwx file →さらにfileのアクセス権は、-rwx---r-x fileとなります。
---

### chown (option) [変更後の所有者(のユーザーID)] [file/dir]

chown	... ファイルやディレクトリの所有者を変更します。
(option)	
-R	... ディレクトリの中身まで再帰的に変更します。
＜使用例＞ chown hogehoge file →fileのオーナーをhogehogeに設定します。 chown -R hoge dir →dirの中身のオーナーをすべてhogeに設定します。	

### chgrp (option) [変更後のグループ名] [file/dir]

chgrp	... ファイルやディレクトリのグループを変更します。
(option)	
-R	... ディレクトリの中身を再帰的に変更します。
＜使用例＞ chgrp rat file →fileのグループをratに設定します。 chgrp -R rat dir →dirの中身のグループをすべてratに設定します。	

## ユーザー&グループ

### useradd (option) [ユーザー名]

useradd	... ユーザーを追加します。
(option)	
-d [dir]	... ホームディレクトリを指定します。
＜使用例＞ useradd rat1 →rat1というユーザーアカウントを作成し、ユーザーディレクトリを/home/[ユーザー名]に作成します。 useradd rat2 -d /root/ →rat2というユーザーアカウントを作成し、ユーザーディレクトリを/root/[ユーザー名]に作成します。	

### userdel (option) [ユーザー名]

userdel	... ユーザーアカウントを削除します。
(option)	
-r	... ユーザーアカウントを削除し、同時にユーザーディレクトリも削除します。
＜使用例＞ userdel rat1 →rat1というユーザーを削除します。 userdel -r rat1 →rat1ユーザーアカウント、並びにユーザーディレクトリも削除します。	

### passwd (option) [ユーザー名]

passwd	... カレントユーザーのパスワードを変更します(他人のパスワードを変えるができるのはスーパーユーザーだけです)。
＜使用例＞ passwd →パスワード変更の手順を進めることにより変更できます。	

### groupadd (option) [グループ名]

groupadd	... 新しいグループを追加します。
(option)	
-g	... 新しいグループを追加すると同時に、グループIDも指定できます。
＜使用例＞ groupadd rat →デフォルトでは、/etc/groupファイルにratが追加されます。	

### groupdel [グループ名]

groupdel	... 既存のグループを削除します。
＜使用例＞ groupdel rat →グループratを削除します。	

### su (option) [ユーザー名]

su (option) - ... 今の環境を引き継いだまま、ユーザーを切り替えます(ユーザー名を指定しないと、スーパーユーザーへの切り替えとなります)。 ... 今の環境を引き継がないでユーザーを切り替えます(ログインシェルを使用しての切り替えを行います)。	
<使用例> su - →スーパーユーザーに切り替えます(パスワードの入力が必要)。	

id (option) [ユーザー名]

id ... 現在のユーザーやグループのIDを表示します。	
<使用例> id →ユーザーID、グループなどが表示されます。	

shutdown (option) [時間]

shutdown (option) -h -r [時間] now 時刻 + (分) ... システムの終了、再起動をします。 ... システムの終了を行います。 ... システムの再起動を行います。 ... 今すぐに動作を行います。 ... 指定した時刻にその動作を行います。 ... 指定時間後にその動作を行います。	
<使用例> shutdown -h now →システムを終了します。 shutdown -r now →システムを再起動します。	

exit

exit ... 現在のプロセスなどの終了(シェル上で動いているプロセスを終了させますが、他のプロセスが動いていないときに実行するとログアウトとなります)。	
<使用例> exit →ログアウトします。	

マニュアル

man (option) [command]

man (option) -k -セクション番号 番号を指定することで、(存在する場合)そのセクションに合ったマニュアルを参照することができます。 1 ユーザーコマンド 2 システムコール 3 関数やライブラリルーチン 4 特殊ファイル、デバイスドライバ、ハードウェア 5 設定ファイルをファイル形式 6 ゲームとデモ 7 その他(文字セット、ファイルシステムタイプなど) 8 システム管理用コマンド ... コマンドの使用方法などのマニュアルを表示します。 ... すべてのマニュアルページからキーワードを検索します。	
<使用例> man vi →viのマニュアルを表示します。	

その他

type (option) [command]

type ... コマンドの型を表示します(型: エイリアス、シェルコマンド、関数、予約語)。	
<使用例> type rmdir →rm is /bin/rm type ls →ls is aliased to 'ls --color=tty'	

which (option) [command]

which ... コマンドを探し出してフルパスで表示します。エイリアスについても表示します(検索範囲はパスが通っているところのみ)。	
<使用例> which shutdown →/usr/bin/which	

who (option)

who (option) -m -q ... ログインユーザーを表示します。 ... whoamiと入力すると同様で、現在自分がログインしているユーザーを表示します。 ... ログインしているユーザーの人数と、そのログイン名のみを表示します。	
<使用例> whoami →自分がログインしているユーザーを表示します。	

alias (option) (登録するコマンド名=(コマンド名)')

alias ... コマンドの別名を登録します。	
<使用例> alias ls='ls -aIF' →以降、lsと打つだけで、ls -aIF が実行されるようになります。	

unalias (option) (登録したコマンド名)

unalias ... aliasで登録したコマンドを削除します。	
<使用例> unalias ls →上記aliasの項で登録したlsのaliasを削除します。	

(command) > (file)

> ... 出力のリダイレクト(commandの結果をファイルやデバイスに渡します)。	
<使用例> grep rat *.txt > rat_grep.txt →grepの検索結果をrat_grep.txtに書き出します。	

(command) < (file/device)

< ... 入力のリダイレクト(プログラムやファイルに対する入力をファイルやデバイスから受け取ることができます)。	
<使用例> grep rat < new.log →new.logからratという文字列を検索します。	

(command1) | (command2)

|

... command1の出力結果をcommand2の入力として渡します。

<使用例>  
grep rat \*txt | less  
→grepの検索結果をlessを使用して閲覧します。